

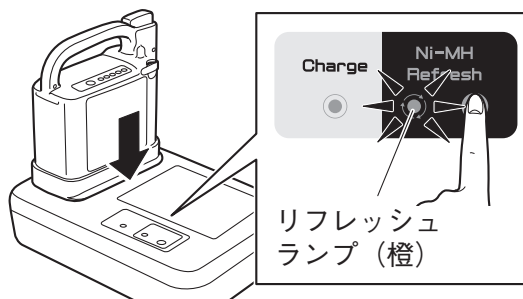
リフレッシュ充電の方法

ニッケル水素バッテリーはメモリー効果の解消と予防のためのリフレッシュ充電を行う必要があります。バッテリーを充電器にセットしたときにリフレッシュランプ（橙）が点滅した場合には、リフレッシュスイッチを押してリフレッシュ充電を行ってください。（充電回数が、ほぼ20～30回に1回の割合でリフレッシュランプが点滅します。リフレッシュランプが点滅しないときは、リフレッシュ充電をする必要はありません。）

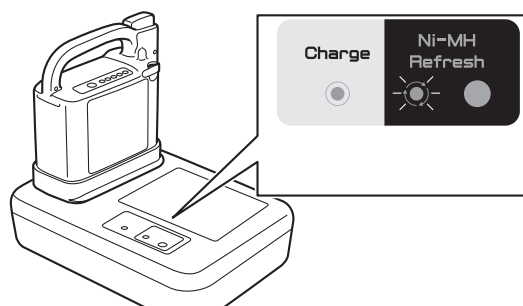
- 1 リフレッシュランプ（橙）が点滅中にリフレッシュスイッチを押してください。

要点

バッテリー挿入後、5秒程度で、一度充電ランプ（緑）が点灯しますが、リフレッシュ充電が必要な場合、充電ランプ（緑）点灯後にリフレッシュランプ（橙）が点滅します。



- 2 リフレッシュランプ（橙）が点滅から点灯にかわってリフレッシュ充電が始まります。



リフレッシュ充電中、バッテリーに残っていた電気を全て放電し終わるとリフレッシュランプ（橙）が消え、充電ランプ（緑）が点灯し、通常充電が始まります。リフレッシュ充電開始から通常充電完了までにかかる時間は、3～19時間です。

- リフレッシュ充電中にバッテリー温度が上がり、充電ランプ（緑）が点滅して充電が待機になることがあります。バッテリーの温度が適温になると、充電ランプが点滅から点灯に変わり、自動的に充電が始まります。
- バッテリーの内部温度が0℃以下または40℃以上のときにリフレッシュ充電をすると、残っていた電気の放電が終わって通常の充電が始まるときに、待機状態になってしまうことがあります。
- リフレッシュスイッチを押し損ねた場合は、バッテリーを充電器から抜いてもう一度差し込んでください。リフレッシュ充電の合図が出て、リフレッシュ充電をすることができます。
- リフレッシュランプ（橙）が点滅した状態でリフレッシュスイッチを押さなかったときには、約1分間経過するとリフレッシュランプの点滅が消え、充電ランプが点灯し、通常充電が始まります。この場合は次の充電のときにふたたびリフレッシュランプが点滅します。

要点

上手な充電の仕方

- バッテリーは、車いすを使わない時間帯に充電することをおすすめします。
- リフレッシュ充電は、バッテリーに残った電気を一度放電した後に充電するため、バッテリー残量が多い場合に実施すると時間がかかります。